

第4次農業農村基本計画に関する御意見

令和5年11月17日(ふらの未来農業 EXPO 人間力向上ゼミ参加者)

- ・スマート農業の取り組みは、市のスピーディーな支援が必要(29歳以下、男性、農業者)
- ・福祉職として、高齢者、障害者の就労に興味があります。実際に農業に関わるとき、こういった方法、またはすでに行っている事業、活動はありますか？(30代、女性、医療・福祉関係)
- ・ふらのブランドは他の自治体と比べてとても大きいと思うのですが、JA、町を含めて美瑛に負けてしまうのではと危惧しております。電通などの外部との連携など外からの目線を導入しては、
・ふるさと納税でのアニメコラボ、ファンなどは良かったと思う。議員は理解を深めてほしい。(50代、男性、農業者)
- ・人手が足りなくて、外国人労働者に来ていただく事は必要だと思う。もう少し、化学肥料や農薬、除草剤などに依存した農業から脱却し、農業地域の子どもたちにも害にならないような有機に近づけた農業を目指していくべきである。地産地消を目指し、大量生産ではなく、価格を高くしても(富良野ブランドの確立)買ってくれる消費者はいる。私の父は、長年農業に従事しており「がん」になり死にました。少しでも作る側、作業する側、子ども達、食べる人の将来的な健康も意識した農業を目指して行ってほしいと思っています。(年齢不明、女性)
- ・働き手の人の給料が上がるようになるには、ブローカー、エージェント、ヘルパー制度などに中抜きされている部分が大きく、最終受益者の働き手の給料が低いように感じますので、何とかする方法を議論していただきたい。(60代、男性、半農半X(自分で庭園+アルバイト))